

第8回管理者セミナーを開催

平成16年2月20日に東京都千代田区の手町サンスカイルームにおいて、会員の管理者クラスを対象に第8回管理者セミナーを開催し、約110名の方に参加いただきました。

今回のセミナーでは、「企業倫理」をテーマとした2つの講演を行い、その取り組みについて会員間で認識を共有しました。

NSネット町田事務局長の挨拶、田中安全部長の活動報告の後、東京電力(株)企業倫理グループマネージャーの石川正幸氏から、「東京電力の企業倫理遵守に関する取り組み」と題し、東京電力が目指す企業倫理経営、企業倫理遵守プログラム、企業倫理定着活動、間口を広く敷居を低くした倫理相談窓口などについてご講演いただきました。講演では、



東京電力(株)石川正幸氏

昨年3月に企業倫理遵守に関する行動基準を制定したが、これは「ゴール」ではなく「スタート」だと考えており、その後の定着活動に力を入れている。

企業倫理の定着で重要なことは、継続すること。また、一人でも多くの方がこの問題に関心を持って参加することが大切だと思う。

企業倫理の定着状況をモニタリングし、それぞれの職場にきちんとフィードバックすることも重要である。

など、具体的な取り組み例の説明がありました。

次に、雪印乳業(株)コンプライアンス部長の岡田佳男氏から、「『新生・雪印乳業』の取組～一人ひとりの意識と行動の改革を目指して～」と題し、企業理念・行動基準策定の経緯、行動基準定着活動などについてご講演いただきました。講演では、

企業理念の中に不祥事をしっかり認識して、全員が忘れない、風化させないということを謳っている。

いろいろな問題が起こったときに、その起こした問題の責任の重さもあるが、起こした結果の対応についての責任も非常に大きい。

「消費者と企業というのは今までは敵対関係という意識が強かったが、やはりパートナーになりたいと消費者も思っている。企業も良いパートナーになるように取り組んでほしい。」という意見があり、お客様と真正面から向き合っていきたい。

など、改革に関する詳細な説明がありました。



雪印乳業(株)岡田佳男氏

第8回評議員会を開催

平成16年2月10日東京都千代田区の経団連会館において、第8回評議員会を開催しました。

本評議員会では、平成15年度の活動実績、平成16年度の活動計画を中心に、各評議員からご意見をいただきました。NSネットではこれらを取りまとめ、ホームページに掲載する予定です。



評議員会の様子

《評議員会での主なご意見》

NSネットの活動寄与度アンケート調査結果に対しては、「寄与していない」と回答した人の場合には、『だれ』が、また『なぜ』そう思っているかという情報が必要である。

社会一般が、どういう意識を持っていて、それにどのように応えるかという大きな問題意識が重要ではないか。NSネットの設立趣旨や役割を越えるかもしれないが、今社会で問題になっていることに対して、NSネット自身が大きく切り込んで、問題提起をするよう意識したほうがよいのではないか。

NSネットの役割を立ち止まって見直してみる必要があるのではないか。どのようにして原子力の安全文化のイメージを国民が納得するような形でつくるか、過去の経緯は経緯として、今何をすべきなのかを考えることが大事である。

技術的な安全性を追求するだけで世の中が納得する状況ではなくなっている。社会一般が持っている原子力に対する不安をどうすれば解消できるか、それを現場から考えてもらうことに力点を置くことが必要ではないか。



牧野理事長



石井評議員



碧海評議員



髙評議員



田中評議員



お知らせ

来年度のNSnet Newsは、季刊（年4回発行）を予定しています。

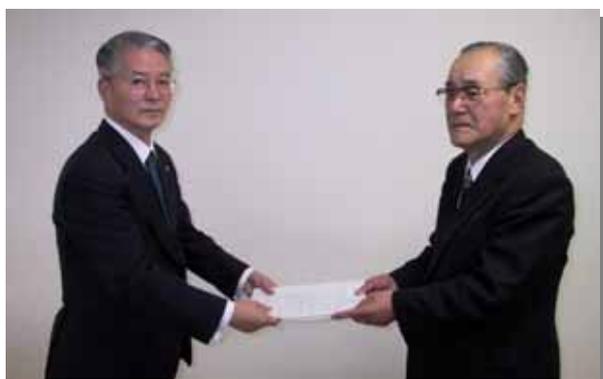
NSネットの活動状況をわかりやすくお伝えしていきますので、ご愛読お願いいたします。

第37回相互評価の実施

今回は、第37回の東京電力(株)福島第二原子力発電所で行われたピアレビューの状況を紹介します。ピアレビューの概要及び報告書の全文はNSネットのホームページ(<http://www.nsnnet.gr.jp/>)に掲載していますのでご覧ください。なお、今回から、2巡目のピアレビューとなります。

平成15年12月9日から12日にかけて行われた第37回のピアレビューは、日本原子力研究所、三井造船(株)、中国電力(株)、三菱マテリアル(株)、日本原子力発電(株)の専門家及びNSネット事務局(計5名)が評価チームに参加し、組織・運営、緊急時対策、教育・訓練、運転・保守、放射線防護、重要課題対応の各分野について、原子力産業界のベストプラクティスに照らして評価を行いました。さらに、倫理関係、コミュニケーション等にも注意を払ってレビューしました。

東京電力(株)福島第二原子力発電所における評価の結果では、今般の問題への対応も含めた、安全に係る諸活動において、「信頼回復」、「安全第一をしみ込ませた人づくり」、「継続的な原子力安全活動」等を念頭に、所長をはじめ全社員がそれぞれに与えられたミッションを認識し、協力会社とも連携を図りつつ、誠実に取り組む姿勢が感じられたことが確認されました。また、NSネットの会員外から、科学技術ジャーナリストの尾崎正直氏にオブザーバー参加いただき、「ピアレビューはPDCAに活かして頂ければ大変効果があるのではないか。また、この機会を利用して、自分達の日頃の仕事を整理し、あるいは反省するきっかけになれば、それなりの効果があると思う。」との講評をいただきました。



報告書の提出

牧野理事長(写真右)より東京電力(株)勝俣社長(写真左)へ

主な良好事例

- 「不適合管理委員会」で毎日、不適合事象の吸い上げと対応の策定
- 出前講座による次世代層への原子力安全のアプローチ
- 「コラボネット」による情報の早期発信と「現場作業よろず相談室」の活用による協力会社とのコミュニケーションの向上
- ヒューマンエラーの根本原因把握のための「なぜなぜ問答会」の活用

主な改善提案

- 毎月の安全重点実施事項をふまえた目標の設定
- 他発電所等良好事例の積極的な取り込みに向けた検討
- 燃料のシッピング検査における協力会社社員への要求技能の明文化

パネル展示状況

平成16年2月より、事務局のある大手町ビル1階通路のショーウィンドーにNSネットのパネル(日本語版および英語版)を設置し、一般の方々へのNSネット活動のPRを行っています。お近くにお立ち寄り際には是非ご覧ください。



第57～60回安全キャラバンの実施

平成15年度の安全キャラバンでは「倫理」に特化した活動を展開しました。

今回は第53～55回の安全キャラバンの様子について紹介します。安全キャラバンの詳しい内容については、NSネットのホームページをご覧ください。

回	訪問日	訪問事業所	安全講演会講師	講演テーマ
57	H16.1.23	(株)日立製作所 日立事業所	金沢工業大学 教授 札野順 氏	技術者倫理と企業倫理 - 価値の共有を目指して -
58	H16.2.5	日本原燃(株)濃縮・埋設事業所	企業行動研究センター 所長 菱山隆二 氏	いま問われる企業倫理 - 企業行動の基盤の見直し -
59	H16.2.27	三菱重工業(株)神戸造船所	(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン 取締役 顧問 村上和子 氏	GEの企業倫理規定とその実践
60	H16.3.5	原燃輸送(株)本店	経営倫理実践研究センター 専任講師 松本邦明 氏	好倫理体質の構築に向けて



札野氏

「最適な価値のバランスを可能にするように、自らの行為を設計し実行することが倫理です。したがって、技術者にとって倫理は周辺領域ではなく、自分の存在意義に関わる中核的な問題なのです」



菱山氏

「トップが、『自分がいかに企業倫理に関心を払っているか』ということを示す時代になっており、トップのリーダーシップの発揮が必要です。」



村上氏

「GEのプライオリティは Integrity, Safety, Quality, Output (ISQO) の順で、Integrity は最重要であり、今こそ ISQO を再確認するべきだと考えています。」



松本氏

「時代の潮流が変わってきており、旧体制への安住が社会常識とのズレを生んでしまわないよう、経営の基本軸を見直す必要が出てきています。」



NSネット (ニュークリアセーフティーネットワーク)
NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク)は、東海村のウラン加工施設における臨界事故を教訓として、原子力の安全文化の共有化・向上を図るために設立された相互交流ネットワーク組織です。

NSnet News No.24 2004年3月発行
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル437号室
TEL:03-5220-2666 FAX:03-5220-2665
インターネットでNSネットの詳しい活動内容をご紹介します。
<http://www.nsnet.gr.jp>

